

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・適切になるように工夫している ・パーテーションなども使ってスペースをうまくつくっている ・車椅子利用が重なっている時にもっと適切な環境整備が必要かと
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・多いほうが良いが、その日の利用者さんに合わせ個別の動きを決めて対応している ・
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・介助もしやすい環境だと思う ・本当は介助用のベッドなども欲しいが現実、事業所スペースを考えると厳しい
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		・本当は全職員に参加してもらいたいと同じ時間に全員が集まる事は難しいので、なるべくは集まり、参加が難しい職員には個別の対応をしている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		・把握、話し合いはしているが、実際に改善するまでのプロセスが今後の課題だと思う
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・事業所ホームページにて公開しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今後、第三者評価による外部評価を検討しています
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修はこまめに開催し、職員の支援力向上に努めています
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの様子を現場職員からもしっかりと聞き取り、保護者のニーズと子どもの到達可能な支援課題になるよう支援計画を作成しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・事業所内で標準化されたアセスメントツールを作るのが現状の課題です
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・その時の子どもの状況に合わせて、子どもたち全員が楽しんで、落ち着いた気持ちで過ごせるようチームで話し合い、活動を考えています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・同じ活動にならぬように工夫しているが、雨の日や長期休み期間の活動はこれからもっと子どもたちが楽しめるようにしていきたい
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・きめ細かさや、全職員の共通認識が今後の課題です
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・子どもの状況に合わせて活動を提示しているが、どうしても集団活動への参加が難しい子どももいるので、難しさを感じる時がある
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・勤務開始前にその日の動き、活動を確認し、役割を意識して支援にあたるようにしている
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・その日の振り返りを行い、共通認識を持って次回の支援につなげられるようにしている ・勤務時間の関係で当日に振り返りができない場合もある	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		・日々の支援に対して活動記録に記載するとともに連絡帳も活用し、記録を残し、検証・改善を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		・定期的にモニタリングを行い、見直しの確認をし、判断している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		・複数組み合わせられない場合もある
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		・基本は統括施設長が参加し、合わせてその子どもの状況に精通した職員が参加している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・基本的には情報共有を行っている ・学校によっては協力体制がとれない学校もある
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・できるところとできないところがある
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・希望があれば情報共有の機会に参加するが、今まで卒後の事業所等から求められたことはない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・研修機会があれば積極的に参加したい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		機会があれば積極的に参加したい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		・市に自立支援協議会はないが、似たような機会の場には積極的に参加している
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		・送迎時、連絡帳にて状況等を伝え、共通認識、共通理解できるよう心掛けている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・必要に応じて行っている
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		・契約時に時間をとって説明している
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		・丁寧に応じるようにしている
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今のところ保護者会等の開催はしていなかったが、希望があれば取り入れていきたい

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情に対する体制を事業所で整備しています ・迅速に対応するよう心掛けています
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・HPIにて活動の様子等をお知らせできるようにしている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・鍵付きの書庫にて保管しています
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・子ども、保護者それぞれに配慮しています
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・今まではコロナ等もあり、行っていなかったが、今後は地域との交流も図ってきたい
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・体制を整え、会議、研修等にて職員に周知している ・保護者には契約時に説明している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・子どもも参加で避難訓練等を年二回行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年二回の虐待防止研修を行い、虐待防止に努めている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・委員会にて指針を取り決め、やむを得ず身体拘束を行う可能性がある子どもには保護者に説明はするが、今のところ該当するケースはない
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・適切なアレルギー対応を行っている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハットがあった場合は全職員に伝達し、共通認識するよう心掛けている

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。